

「確かな学力」充実へ検討委

県教委
初設置

向上策など検証、協議

県教委は、小中学生の「確かな学力」の充実を図るため「学力向上対策検討委員会」を初めて設置した。十月までに意見をまとめ、今後の県の施策に反映させる。

確かな学力は、新学習指導要領が求める「生きる力」の基盤。知識や技能だけでなく、学ぶ意欲

や思考力、判断力、表現力、問題解決能力などを含めた学力観をいう。

検討委の委員は小中学校、高校、保護者の代表や外部の有識者ら十一人。二十九日に熊本市の水前寺共済会館であった初会合で、委員長に吉田道雄・熊本大教育学部教授を選んだ。

今後は、二〇〇三年度に導入した県独自の到達度評価問題「ゆうチャレンジ」や、発展的な内容も含んだ中学全学年共通の学力テスト「まいチャレンジ」などの成果と課題を検証。保護者や教職員が求める学力向上策などについて協議する。

(野田一春)